

平成24年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	安全・快適で環境に優しい新たな街づくりの実現のための環境整備		担当部局庁	情報通信国際戦略局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成26年度		担当課室	情報通信政策課		課長 渡辺 克也			
会計区分	一般会計		施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法(平成11年法律第91号) 第4条 第63号、第65号		関係する計画、通知等	日本再生の基本戦略(平成23年12月24日閣議決定)等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ICTを活用した新たな街づくりの実現のためのモデル実証を行い、その成果の国内外への普及・展開を図ることにより、我が国が抱え、今後深刻化する少子高齢化、生産年齢人口の減少、社会インフラの老朽化、地球温暖化等の諸課題の解決や、経済活性化・雇用創出等による新たな成長を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	センサ等で収集した多種多量の情報が地域間や利用分野間で流通・連携し、街の機能の効率化、街の魅力向上、新たなビジネスや産業の創出等に寄与することで、安心・安全で弾力的・永続的に進化する街の実現を図るため、災害に強いワイヤレスネットワーク、コミュニケーションを円滑にするブロードバンド、社会インフラの高度化等のためのクラウドサービスやセンサネットワーク等のICTを活用した新たな街づくりに関するモデルの開発・実証を実施するもの。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	-	493	300		
		補正予算	-	-	-	0	0		
		繰越し等	-	-	-	0	0		
		計	-	-	-	493	300		
	執行額		-	-	-				
執行率(%)		-	-	-					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	委託公募による事業を予定しており、公募前の現時点において成果目標及び成果実績の記載は困難。		成果実績		-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	委託公募による事業を予定しており、公募前の現時点において活動指標及び活動実績の記載は困難。		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-	
						(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠		-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	先導的情報通信社会基盤整備委託費	482.1	293.8						
	電気通信技術研究開発調査費	10.8	6.1						
	諸謝金	0.4	0.3						
	計	493	300						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本再生の基本戦略等でも必要性が指摘されており、広く国民のニーズがあり、優先度が高いと認められる。 ・ICTを活用した新たな街づくりについて、その効果・課題等を検証することが求められており、本事業により成功事例をつくり、地方自治体・民間等による事業を促進するものであるため、国が実施すべき事業と認められる。 ・不用率については、未執行のため評価できない。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・資金の流れ(支出先、単位当たりコスト、受益者との負担、資金の流れ)については、未執行のため評価できない。 ・費目については、本事業の実施に必要な謝金・調査費(庁費)であり、真に必要なものに限定されている。また、使途については、未執行のため評価できない。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動実績、成果実績の各項目については、未執行のため評価できない。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○ 本事業は、センサ等で収集した多種多量の情報が地域間や利用分野間で流通・連携し、街の機能の効率化、街の魅力向上、新たなビジネスや産業の創出等に寄与することで、安心・安全で弾力的・永続的に進化する街の実現を図るため、災害に強いワイヤレスネットワーク、コミュニケーションを円滑にするブロードバンド、社会インフラの高度化等のためのクラウドサービスやセンサネットワーク等のICTを活用した新たな街づくりに関するモデルの開発・実証を実施するもの。</p> <p>○ 委託先(委託費支出先)の選定にあたっては、実施希望者の公募を広く行い、外部の有識者からなる評価会において評価を行い、最も優れた提案を採択する企画競争方式により、競争性を担保する予定である。</p> <p>また、支出先における委託経費の執行にあたっては、事前に予算計画書を提出させるとともに、年度途中及び年度末に委託費の支出に関する証憑書類を提出させ、総務省担当職員が詳細な確認を行うとともに、経理検査補助業務を外部の監査法人へ依頼し、専門的知見も活用しながら経費の執行の適正性を確保することとしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	更なる経費の効率化を図るべき		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	ICTを活用した新たな街づくりの先行モデルの実現に向け、効率的で適正な予算の執行に努める。		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新24-0023

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					